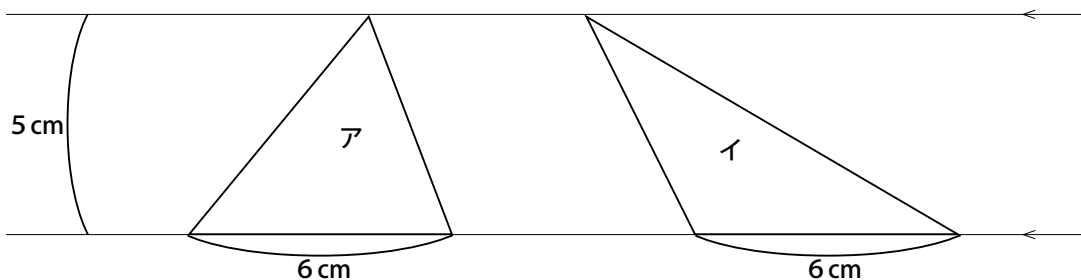
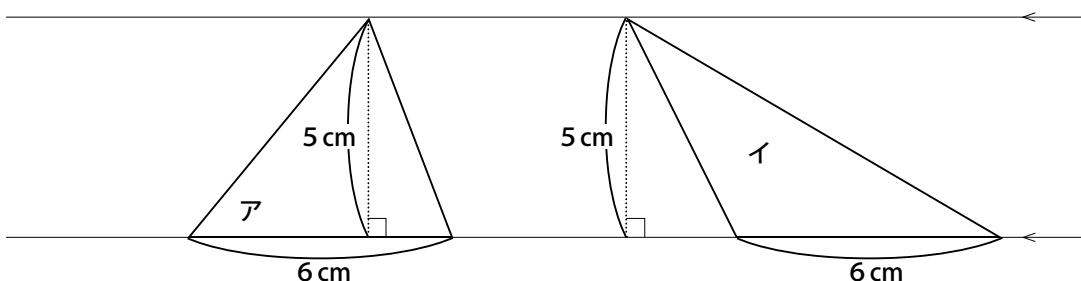


面積の比

例題1、ア、イの2つの三角形の、どちらの面積が大きいですか。



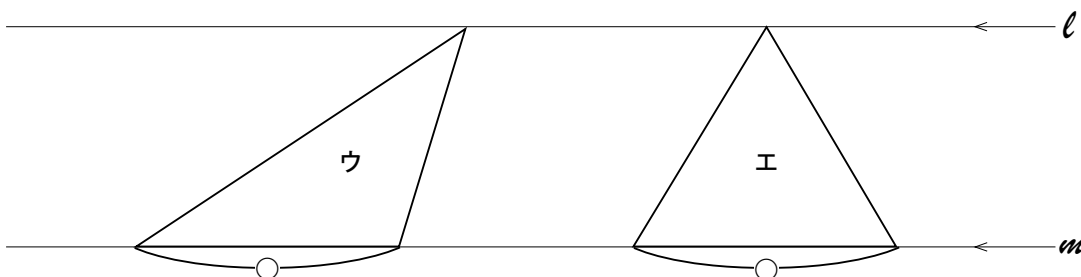
アもイも、底辺が6 cm で高さが5 cm なので、



どちらの三角形も $6 \text{ cm} \times 5 \text{ cm} \div 2 = 15 \text{ cm}^2$ で、同じ面積になります。

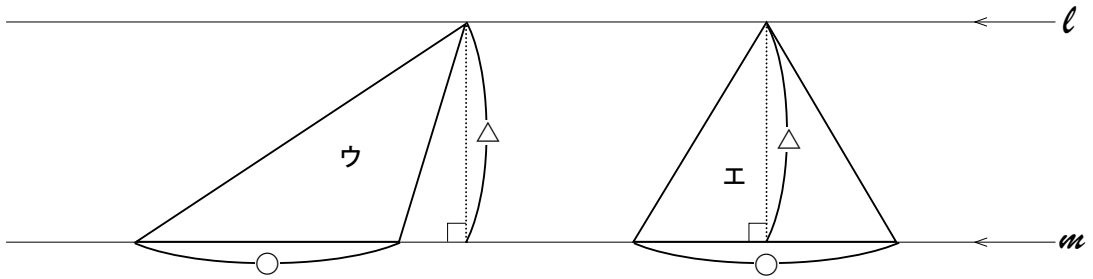
答、等しい

例題2、ウ、エの2つの三角形の、どちらの面積が大きいですか。



この場合、底辺の長さも高さも分かっていません。しかし、ウとエと、底辺はどちらも $\bigcirc \text{ cm}$ で等しい、また高さも等しい（直線 l と m は平行線だから）。どちらも同じ底辺の長さ、同じ高さなので、面積も等しくなります。

面積の比

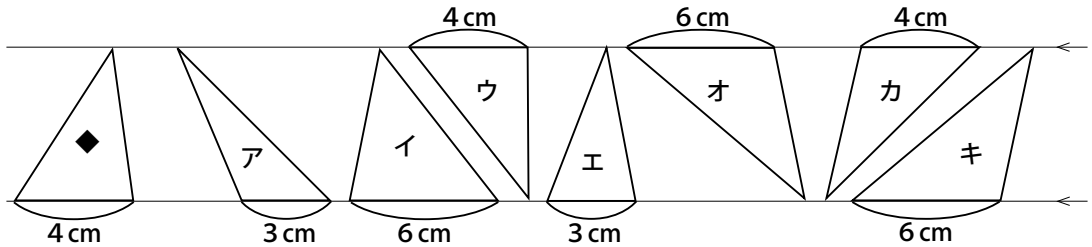


$$\text{ウ} : \bigcirc \text{ cm} \times \triangle \text{ cm} \div 2 = \square \text{ cm}^2$$

$$\text{エ} : \bigcirc \text{ cm} \times \triangle \text{ cm} \div 2 = \square \text{ cm}^2$$

答、等しい

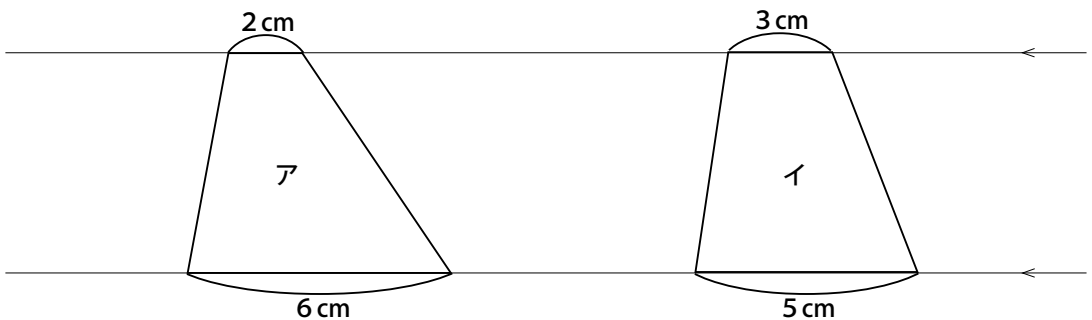
問題 1、次の◆の三角形と面積の等しいものを全て選び、記号で答えなさい。



答、_____

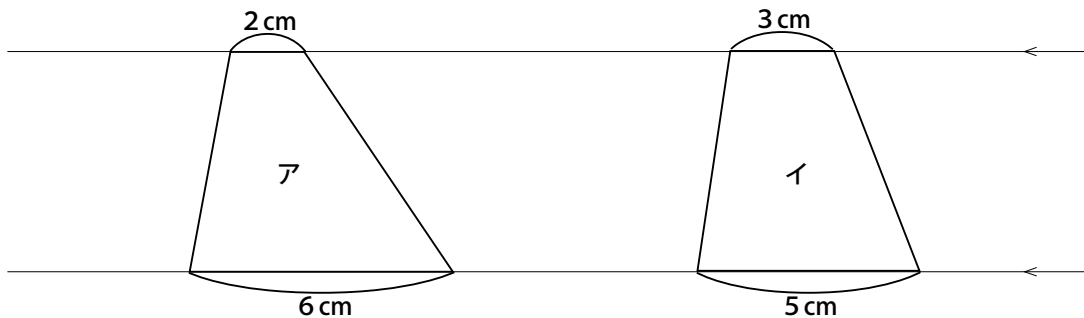
★平行な 2 線の間には描かれた三角形は、底辺の長さの大小が面積の大小になります。

例題 3、ア、イの 2 つの台形の、どちらの面積が大きいですか。



面積の比

高さは何 cm 分かりませんが、等しいことは分かります。台形の面積の求め方は (上底+下底) × 高さ ÷ 2 ですので、仮にア、イの高さを○ cm とすると



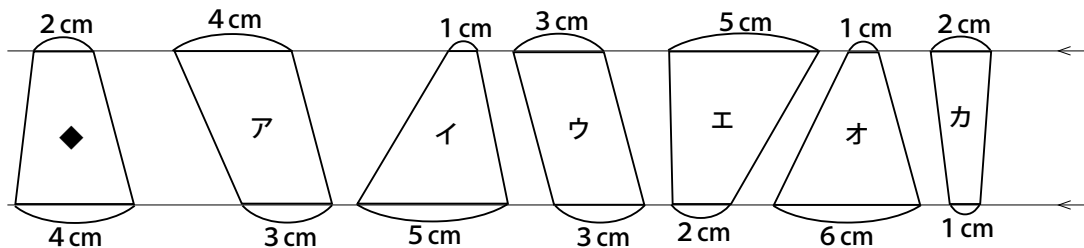
$$\text{ア} : (2 \text{ cm} + 6 \text{ cm}) \times \text{○ cm} \div 2 = 8 \text{ cm} \times \text{○ cm} \div 2$$

$$\text{イ} : (3 \text{ cm} + 5 \text{ cm}) \times \text{○ cm} \div 2 = 8 \text{ cm} \times \text{○ cm} \div 2$$

どちらの面積も $8 \text{ cm} \times \text{○ cm} \div 2$ となり、等しいことが分かります。

答、等しい

例題 4、次の◆の形と面積の等しいものを全て選び、記号で答えなさい。



これらの台形の高さを○ cm とすると

$$\text{◆} : (2 \text{ cm} + 4 \text{ cm}) \times \text{○ cm} \div 2 = \underline{6 \text{ cm}} \times \text{○ cm} \div 2$$

$$\text{ア} : (4 \text{ cm} + 3 \text{ cm}) \times \text{○ cm} \div 2 = \underline{7 \text{ cm}} \times \text{○ cm} \div 2$$

$$\text{イ} : (1 \text{ cm} + 5 \text{ cm}) \times \text{○ cm} \div 2 = \underline{6 \text{ cm}} \times \text{○ cm} \div 2$$

ウ: ...

どの台形も $\underline{\times \text{○ cm} \div 2}$ の部分は等しいので、.....cm の部分が等しければ、面積が等しいことになります。

面積の比

上底+下底

◆ : $2\text{ cm} + 4\text{ cm} = 6\text{ cm}$

ア : $4\text{ cm} + 3\text{ cm} = 7\text{ cm}$ イ : $1\text{ cm} + 5\text{ cm} = 6\text{ cm}$

ウ : $3\text{ cm} + 3\text{ cm} = 6\text{ cm}$ エ : $5\text{ cm} + 2\text{ cm} = 7\text{ cm}$

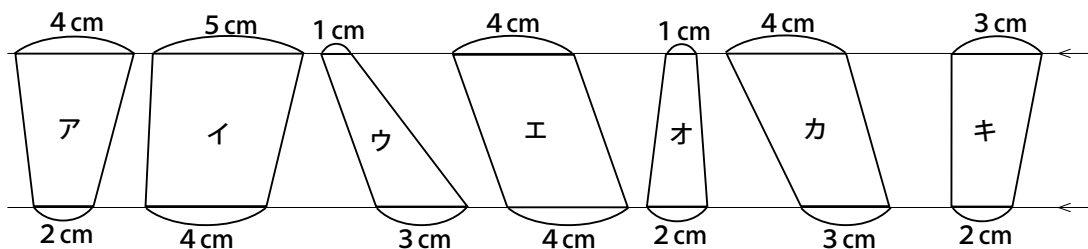
オ : $1\text{ cm} + 6\text{ cm} = 7\text{ cm}$ カ : $2\text{ cm} + 1\text{ cm} = 3\text{ cm}$

答、イ、ウ

(※ ウは平行四辺形ですが、台形と同じ考え方で面積を求められます)

★平行な2線の間には描かれた台形は、「上底+下底」の長さの大小が面積の大小となります。

例題5、次の台形、平行四辺形を、面積が大きいものから順に並べて答えなさい。



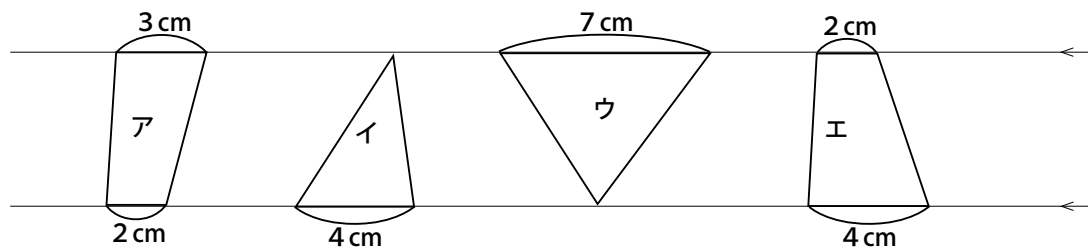
台形の面積を求める式の「 \times 高さ $\div 2$ 」の部分は全て等しいので、「上底+下底」の部分の大小が面積の大小になります。

ア : $4 + 2 = 6$ イ : $5 + 4 = 9$ ウ : $1 + 3 = 4$ エ : $4 + 4 = 8$

オ : $1 + 2 = 3$ カ : $4 + 3 = 7$ キ : $3 + 2 = 5$

答、イ→エ→カ→ア→キ→ウ→オ

例題6、次の形を、面積が大きいものから順に並べて答えなさい。



面積の比

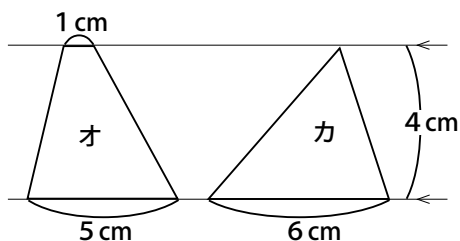
例えば、右図のオとカの面積を求めてみます。

これらは、高さも分かっていますから、正しい数値が求められます。

$$\text{オ} : \frac{(1\text{ cm} + 5\text{ cm}) \times 4\text{ cm} \div 2}{=} 12\text{ cm}^2$$

$$\text{カ} : \frac{6\text{ cm} \times 4\text{ cm} \div 2}{=} 12\text{ cm}^2$$

オとカの面積は等しいことが分かります。



この場合、「 $\times 4\text{ cm} \div 2$ 」の部分、つまり「 $\times \text{高さ} \div 2$ 」の部分等しいのでオとカの面積の大小は、点線の部分の大小で決まることになります。

カの三角形を「上底が 0 cm の台形」と考えると、三角形の面積を求める式と全く同じ式になることを確認して下さい。

$$\text{カ} : \frac{(0\text{ cm} + 6\text{ cm}) \times 4\text{ cm} \div 2}{=} \frac{6\text{ cm} \times 4\text{ cm} \div 2}{=} 12\text{ cm}^2$$

台形の面積を求める式

三角形の面積を求める式

★三角形は、「上底 = 0 cm」の特殊な台形とみて、面積の大小を比べることが出来ます。

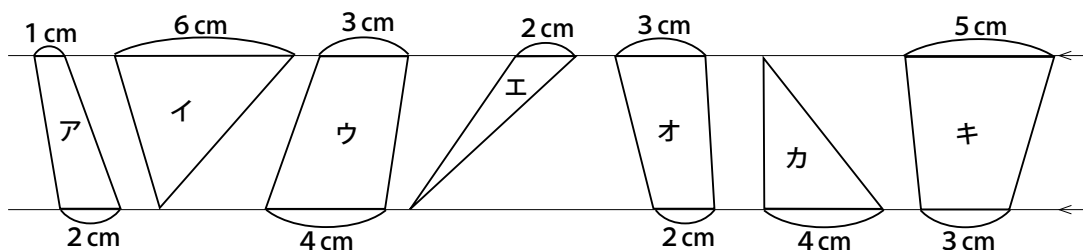
したがって、平行な 2 線の間で描かれた台形と三角形は、三角形を「上底が 0 cm の台形」と見なして、「上底 + 下底」の大小でその面積の大小を比べることができます。

例題 6 は、それぞれ

$$\text{ア} : 3 + 2 = 5 \quad \text{イ} : 0 + 4 = 4 \quad \text{ウ} : 7 + 0 = 7 \quad \text{エ} : 2 + 4 = 6$$

答、ウ → エ → ア → イ

問題 2、次の形を、面積が大きいものから順に並べて答えなさい。



答、→ → → → → →